

事業所名		サンクス運動療育クラブ				支援プログラム（参考様式）		作成日	R6	年	8	月	10	日
法人（事業所）理念		子ども達が持っている力を伸ばし、様々なことに対する可能性を広げ、将来の選択肢を広げる。そのための挑戦経験や知識を得ることができる場として貢献していく。												
支援方針		刺激の少ない整った空間の中で、専門的な技術を活用して子ども達を支援することにより、本人の持つ力をより発揮しやすくし、成功体験を実現する可能性を高めます。関わりにおいては肯定的な言葉を用いることで、前向きな姿勢で物事を受け止めていける思考を育てる効果を狙い、本人にもご家族にも「できなかったこと」ではなく「挑戦したこと」や取り組んだ過程など、ポジティブな面を見られる思考を育てる支援方針です。前向きな発言や思考を大切にすること事業所であることを大切にしています。												
営業時間		(平日) (土・長期)	10 9	時	0	分から	19 18	時	0	分まで	送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	健康維持に関わる身体の発達を促したり、本人自身が安全に対する知識、技術を身に付けることで、自分自身の生活マネジメントスキルができることを狙いとする支援を行います。また、しっかり身体を動かすことでストレスの解消につなげたり、日中身体を動かすことで夜の睡眠の質の向上につなげ、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身に付けられることも狙いとしています。												
	運動・感覚	日常動作に必要な動作の基本となる姿勢維持や上下肢の運動、動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防筋力の維持・強化を図ります。運動・感覚の領域に関しては、当事業所では運動療育の専門性を活かし、コーディネーショントレーニングを取り入れて運動能力の向上の支援を実施します。												
	認知・行動	個々の認知の仕方の特徴を理解した上で対応を行い、入ってくる情報を適切に処理できるよう支援します。過去に経験したことを踏まえて、以降の自身の活動で直面する事柄に対しての状況把握や理解ができるようにするとともに、これらの情報を的確な判断や行動につなげる力をつけていきます。												
	言語 コミュニケーション	言葉のコミュニケーション手段だけでなく、表情や言葉に代わるコミュニケーション手段を用いて他者と意思のやり取りが行えるよう、コミュニケーションに必要な基礎的な力を身に付けるよう支援します。また、自分と他者との異なる考え方を推測したり受け入れたりしながら、場や相手の状況に応じて主体的にコミュニケーションを展開できるようになることも目指します。												
	人間関係 社会性	集団へ参加する際に必要なルールやマナーを知り、共に取り組む活動を通じて相互理解や互いの存在を認め合う経験を積み重ねます。他者との関りの中から環境・他者・自分自身に対する信頼感を育み、安定した情緒で日常生活ができるよう支援をします。また、自分の強みや他者の強みを理解し、互いに補い合うことで協力しあい、自分や相手の状況に応じた行動ができるよう目指します。												
家族支援		家庭における本人（きょうだいを含む）への言葉がけや関わり方の助言、保護者自身が抱えている悩みに関して一緒に考えたり新たな視点を提案することで、保護者がリラックスして子育てができる支援を行います。						移行支援		目標を定めて放デイで支援を行うことにより、将来的には福祉サービス以外の場でご本人が活動できる力を身に付け、自立して集団参加していけるよう取り組みます。ご家族にもその方針をお伝えして意識を統一します。				
地域支援・地域連携		事業所以外の場所（他事業所や学校、地域での習い事など）の支援者と連携を取り、総合的にご本人への支援を考え、統一した目標に向けて支援実施します。また成長に伴う次のライフステージの支援者へも、支援の経緯を伝達し、スムーズな支援伝達ができるようにします。						職員の質の向上		障がいの特性に関する基礎的な知識以外に、障がい以外での発達に関連する研修、チーム管理の研修、専門的指導の知識研修、安全（感染症を含む）管理、災害の訓練、虐待防止の訓練を年間計画に定め、実施します。				
主な行事等		年間を通じて季節に応じた室内装飾をしたり、日々の活動における始まりの会などで、季節やその日にちなんだ情報提供などを行い、子ども達が生活するこの国の伝統や文化について知る機会を設けています。その際室内装飾においては、子ども達の特性を加味し、療育への集中の妨げにならないにくい活動以外のスペースに施したり、始まりの会においては言葉以外にもイラストや具体物を活用して子ども達の理解度に応じて情報提供するようにしています。												